

目 次

I. 総括研究報告

- 検診効果の最大化に資する、職域を加えた新たながん検診精度管理手法に関する研究-----1
斎藤 博

II. 分担研究報告

1. 検診効果の最大化に資する、職域を加えた新たながん検診精度管理手法に関する研究-----49
佐川 元保
2. 地域住民検診における子宮頸がん検診のプロセス指標の動向と
報告区分変更の影響に関する研究－精密検査結果把握の精度を考慮して-----54
青木 大輔
3. 新しい読影判定区分を用いた胃がん検診の精度管理に関する研究-----63
渋谷 大助
5. 2016年の胃がん検診指針改正が大腸がん検診の受診者数にどう影響した-----65
松田 一夫
6. 肺癌を中心とした新しい検診精度管理指標評価手法に関する研究-----71
中山 富雄
7. 対策型乳がん検診における視触診廃止のプロセス指標に与える影響、
および個別指導の強化に関する研究-----79
笠原 善郎
8. 精度管理手法の国際比較研究-----83
濱島 ちさと
9. 職域におけるがん検診に関する研究-----89
高橋 宏和
9. がん登録データと検診データの照合による精度管理方法に関する研究-----91
雑賀 公美子
10. 大腸がん検診における近年の精度管理水準について-----94
町井 涼子

- III. 研究成果の刊行に関する一覧表-----100